

■ 栃木県全体における対応の基本方針について

検討経緯

- 栃木県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、「道路行政マネジメントを实践する栃木県会議」※(以下「マネジメント会議」)において、道路利用者の皆様が実感している渋滞箇所等を「主要渋滞箇所」として特定しました。
- このたび、「地域の主要渋滞箇所」の対応の基本方針を「マネジメント会議」において検討し、決定しました。

※「道路行政マネジメントを实践する栃木県会議」の構成員

- | | | | |
|-------------------|--------------------|--------------|-------------------------|
| ○学識経験者 | ○(一社)栃木県商工会議所連合会 | ○栃木県NPO協会 | ○東日本高速道路(株)関東支社宇都宮管理事務所 |
| ○(公社)栃木県観光物産協会 | ○(一社)栃木県安全運転管理者協議会 | ○(一社)栃木県バス協会 | ○栃木県 |
| ○栃木県地区交通安全協会女性連合会 | ○下野新聞社宇都宮総局 | ○NPO法人e-とちぎ | ○国土交通省関東運輸局栃木運輸支局 |
| ○栃木県教育委員会 | ○(一社)栃木県トラック協会 | ○栃木県警察本部 | ○国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所 |

H23.3 第9回協議会

H23.12 第10回協議会

H24.8 第11回協議会

H24.12 第12回協議会

H25.1 主要渋滞箇所の特定

H25.6 第14回協議会

対応の基本方針の公表

1. 栃木県の概況

	概要
栃木県の状況	<ul style="list-style-type: none"> 中央の平地部に人口や、道路・鉄道などの交通ネットワークが集中しています。なかでも県都宇都宮市は県人口の4分の1の50万人が住み、産業、教育、文化等の多くの都市機能が集積しています。 栃木県は、南北交通軸に国道4号、東西交通軸に国道50号がありその沿線に市街地が形成され人と道路が集中しています。 自家用乗用車保有台数(千人当たり)が全国2位と高い一方で、民間バスの系統数が減少傾向にあるなど公共交通機関の利便性が低く、自動車への依存度が高い地域です。 全国でも上位の製造業が盛んな地域(製造品出荷額全国第14位)で、新4号国道など幹線道路周辺に多くの工業団地が形成されており、その周辺では通勤通学時での交通が集中し、時間帯によって渋滞の方向が異なります。 また、宇都宮市周辺には郊外型大型商業施設があり、休日には多くの人々が来場します。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> 大田原・那須塩原地域においては、県内上位の製造品出荷額を誇る野崎工業団地など多数の工業団地が立地し、朝夕を中心に通勤通学時の交通集中などにより、速度低下や渋滞が発生しています。 宇都宮地域においては、中心に位置する宇都宮市に産業、教育、文化等の都市機能が集積しており、交通集中による渋滞が発生するとともに、周辺には大規模工業団地が分布することから、朝夕の通勤帰宅時に交通が集中し渋滞が発生しています。また、休日には郊外型大型商業施設で混雑が発生しています。 小山地域においては、主要な幹線道路である国道50号が市街地の中を通過しているため、沿道施設等への出入交通が多く、また沿道に立地する小山工業団地などへの物流交通も集中するため、都市内交通と通過交通が重なり、特に朝夕の通勤通学時間帯に渋滞が発生しています。

2. 対策の方向性

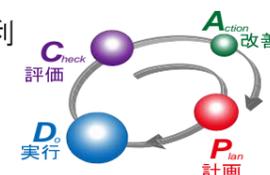
	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> 栃木県においては、朝夕の通勤、通学時に集中する交通渋滞、休日の交通渋滞について、それぞれの渋滞要因に即した対策を、ハード・ソフトの両面から総合的に講じていきます。
道路整備等	<p>①朝夕の通勤・通学時に集中する交通による渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市内交通と通過交通の分離 市街地を迂回する道路ネットワークの整備・強化により、市街地を通過する交通の抑制、流入交通の分散を図ります。 →道路ネットワークの整備(新4号古河小山バイパス、国道4号西那須野道路、国道4号黒磯バイパス、国道408号真岡宇都宮バイパス、国道119号宇都宮環状北道路) 交差点形状や道路構造に起因する速度低下の改良 →円滑な交通となるよう交差点改良や道路改良を実施致します。 (国道119号下川俣町交差点) <p>②休日における観光や大型商業施設に集中する交通による渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> 上り坂による速度低下や交通量増加に起因する合流部の渋滞解消のため、加速車線を延伸します。(東北道岩舟JCT) 適切な信号現示の調整や交通誘導の実施、バス利用の促進等のソフト対策を実施していきます。

今後の対応方針

各主要渋滞箇所の渋滞対策について、既存道路ネットワークの有効利用に取り組むとともに、道路構造上の問題などを抱える渋滞ボトルネック箇所について各道路管理者や警察が連携し、道路利用者等の協力を得つつ検討箇所の抽出、渋滞要因の分析、ハード・ソフト両面から具体的な対策の立案・実施を行ってまいります。

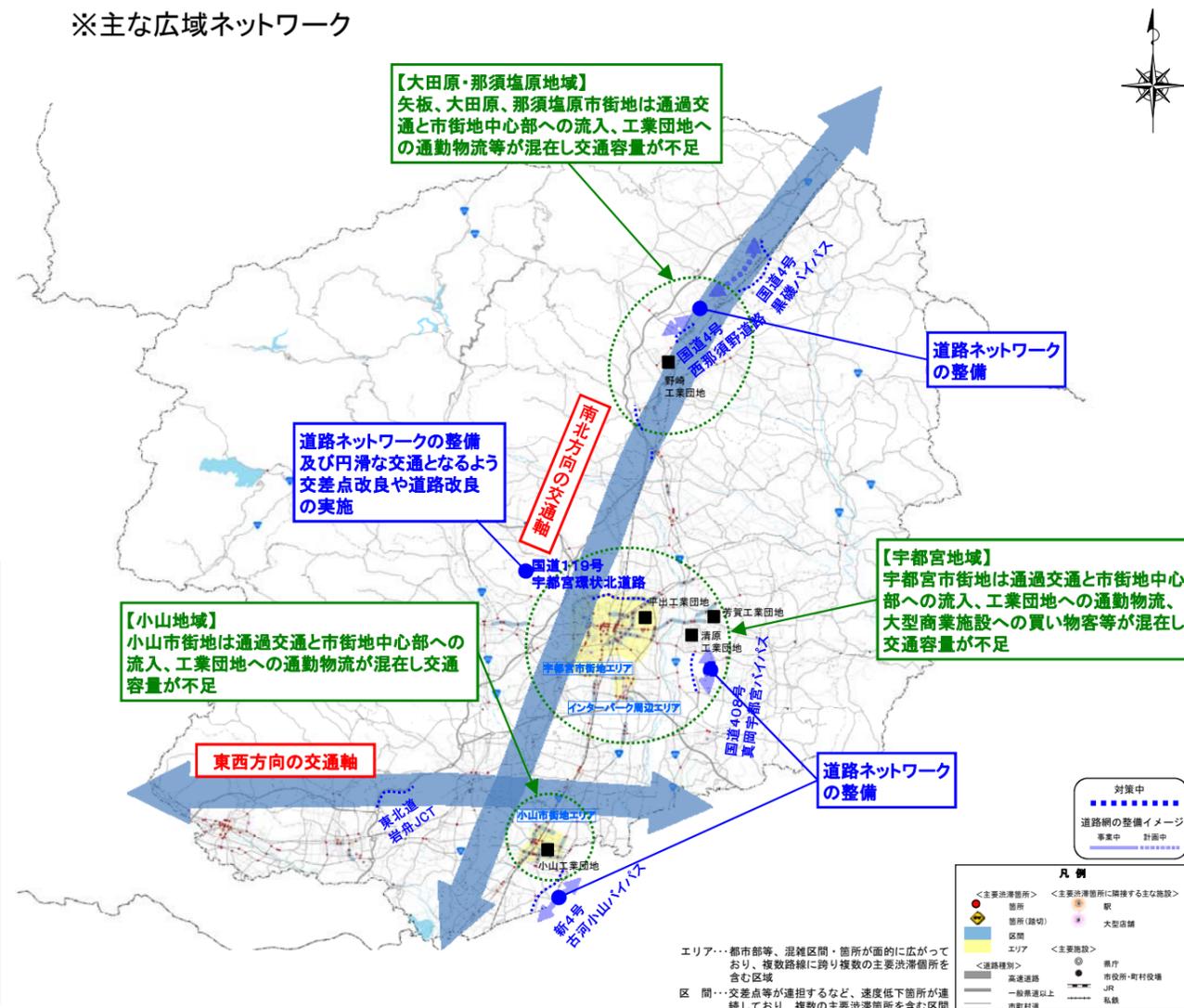
→朝夕の通勤・通学時に集中する交通、休日における大型商業施設による渋滞の対策を進めて参ります。

今後、渋滞箇所や渋滞状況が変わることが想定されることから「マネジメント会議」で主要渋滞箇所やその対応方針について見直しを行って参ります。(PDCAサイクル)



3. 栃木県全体の交通ネットワークイメージ

※主な広域ネットワーク



■ 栃木県大田原・那須塩原地域における対応の基本方針について

検討経緯

- ・ 栃木県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、「道路行政マネジメントを实践する栃木県会議」※(以下「マネジメント会議」)において、道路利用者の皆様が実感している渋滞箇所等を「主要渋滞箇所」として特定しました。
- ・ このたび、「地域の主要渋滞箇所」の対応の基本方針を「マネジメント会議」において検討し、決定しました。

※「道路行政マネジメントを实践する栃木県会議」の構成員

- | | | | |
|-------------------|--------------------|--------------|-------------------------|
| ○学識経験者 | ○(一社)栃木県商工会議所連合会 | ○栃木県NPO協会 | ○東日本高速道路(株)関東支社宇都宮管理事務所 |
| ○(公社)栃木県観光物産協会 | ○(一社)栃木県安全運転管理者協議会 | ○(一社)栃木県バス協会 | ○栃木県 |
| ○栃木県地区交通安全協会女性連合会 | ○下野新聞社宇都宮総局 | ○NPO法人e-とちぎ | ○国土交通省関東運輸局栃木運輸支局 |
| ○栃木県教育委員会 | ○(一社)栃木県トラック協会 | ○栃木県警察本部 | ○国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所 |

H23.3 第9回協議会

H23.12 第10回協議会

H24.8 第11回協議会

H24.12 第12回協議会

H25.1 主要渋滞箇所の特定

H25.6 第14回協議会

対応の基本方針の公表

1. 栃木県大田原・那須塩原地域の概況

	概要
栃木県 大田原・那須塩原 地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木県大田原・那須塩原地域は、南北を貫く幹線道路が国道4号しかなく、この沿線に市街地が発展し、都市内交通と通過交通が混在しています。 ・ 県内上位の製造品出荷額を誇る野崎工業団地など、先端的な技術や研究開発機能を有する企業が立地する工業団地が多くあり、製造業が盛んな地域です。大田原市の情報機械と電気機械、矢板市の情報機械、那須塩原市のゴム製品は全国でも上位の出荷額です。
道路 交通 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業団地への通勤通学時の交通集中などにより、朝夕を中心に南北方向の幹線道路である国道4号で、容量不足による速度低下や渋滞が発生しています。野崎工業団地が周辺に位置する箒川渡河部は、近隣に幹線道路がないため、朝夕の渋滞が顕著です。 ・ 各都市間と首都圏や東北地方とを結ぶ南北方向の流動は国道4号に依存しており、大田原・那須塩原地域においては、通過交通と都市内交通との混在により、土屋交差点や三島交差点周辺などで朝夕の通勤時において集中する交通により、慢性的な渋滞が発生しています。

2. 対策の方向性

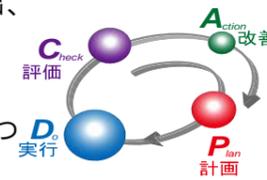
	概要
道路 整備等	<p>①朝夕の通勤時における集中する交通の渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市内交通と通過交通の分離 市街地を迂回する道路ネットワークの整備・強化により、市街地を通過する交通の抑制、流入交通の分散を図ります。 →道路ネットワークの整備(国道4号西那須野道路、国道4号黒磯バイパス、国道400号三島工区) ・ 交差点形状や道路構造に起因する速度低下の改良 円滑な交通となるよう道路改良を実施致します →歩道整備による走行性の向上(国道4号三島歩道整備、国道4号大原間歩道整備)。
ソフト 施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な信号現示の調整、バス利用の促進等のソフト対策を実施していきます。

今後の対応方針

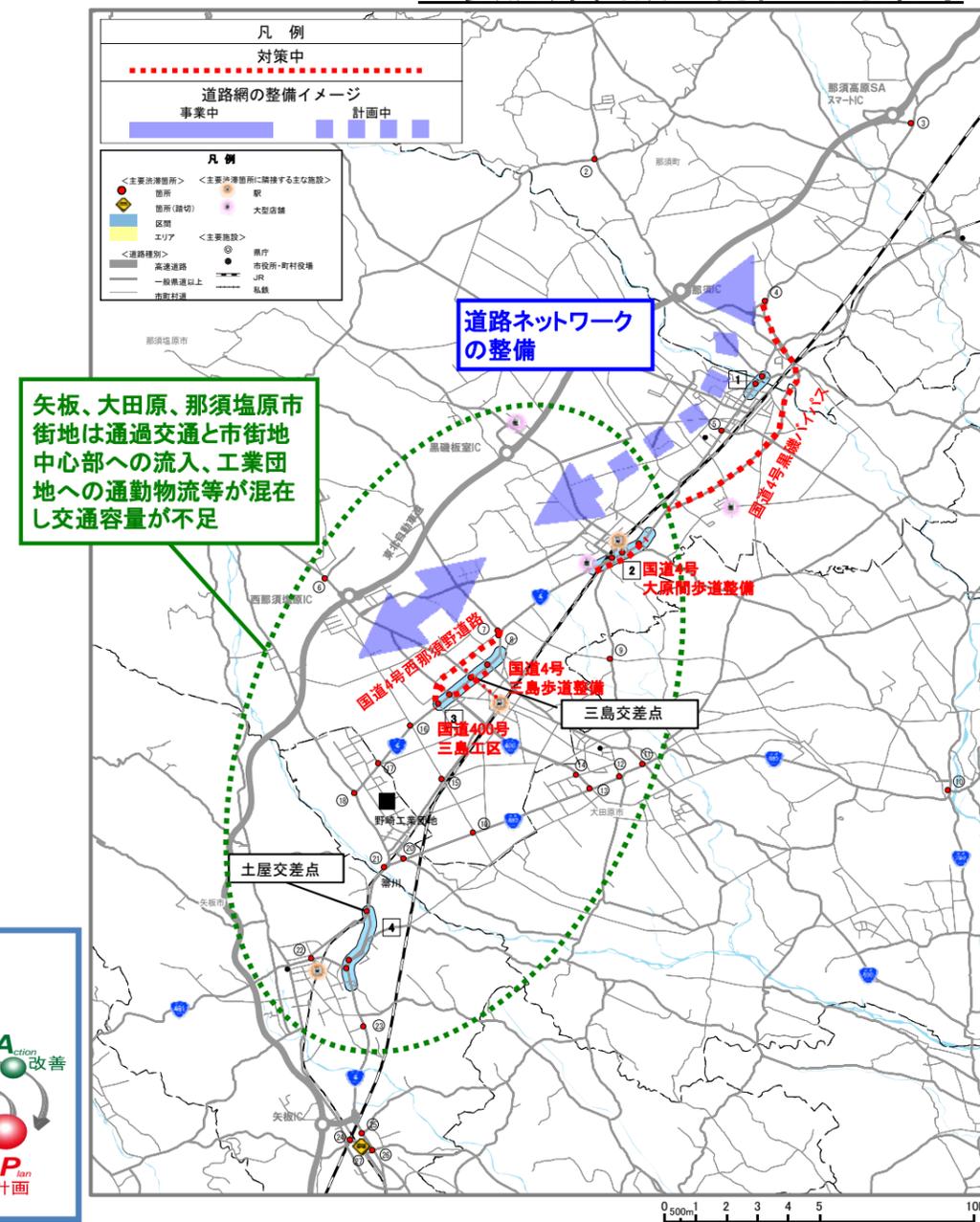
- ・ 各主要渋滞箇所の渋滞対策について、既存道路ネットワークの有効利用に取り組むとともに、道路構造上の問題などを抱える渋滞ボトルネック箇所について各道路管理者や警察が連携し、道路利用者等の協力を得つつ検討箇所の抽出、渋滞要因の分析、ハード・ソフト両面から具体的な対策の立案・実施を行っていきます。

→朝夕の通勤時に集中する交通による渋滞対策を進めて参ります。

- ・ 今後、渋滞箇所や渋滞状況が変わることが想定されることから「マネジメント会議」で主要渋滞箇所やその対応方針について見直しを行って参ります。(PDCAサイクル)



3. 栃木県大田原・那須塩原地域の 主要渋滞箇所と現在の対策等



■ 栃木県宇都宮地域における対応の基本方針について

検討経緯

- 栃木県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、「道路行政マネジメントを実践する栃木県会議」※(以下「マネジメント会議」)において、道路利用者の皆様が実感している渋滞箇所等を「主要渋滞箇所」として特定しました。
- このたび、「地域の主要渋滞箇所」の対応の基本方針を「マネジメント会議」において検討し、決定しました。

※「道路行政マネジメントを実践する栃木県会議」の構成員

- | | | | |
|-------------------|--------------------|--------------|-------------------------|
| ○学識経験者 | ○(一社)栃木県商工会議所連合会 | ○栃木県NPO協会 | ○東日本高速道路(株)関東支社宇都宮管理事務所 |
| ○(公社)栃木県観光物産協会 | ○(一社)栃木県安全運転管理者協議会 | ○(一社)栃木県バス協会 | ○栃木県 |
| ○栃木県地区交通安全協会女性連合会 | ○下野新聞社宇都宮総局 | ○NPO法人e-とちぎ | ○国土交通省関東運輸局栃木運輸支局 |
| ○栃木県教育委員会 | ○(一社)栃木県トラック協会 | ○栃木県警察本部 | ○国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所 |

H23.3 第9回協議会

H23.12 第10回協議会

H24.8 第11回協議会

H24.12 第12回協議会

H25.1 主要渋滞箇所の特定

H25.6 第14回協議会

対応の基本方針の公表

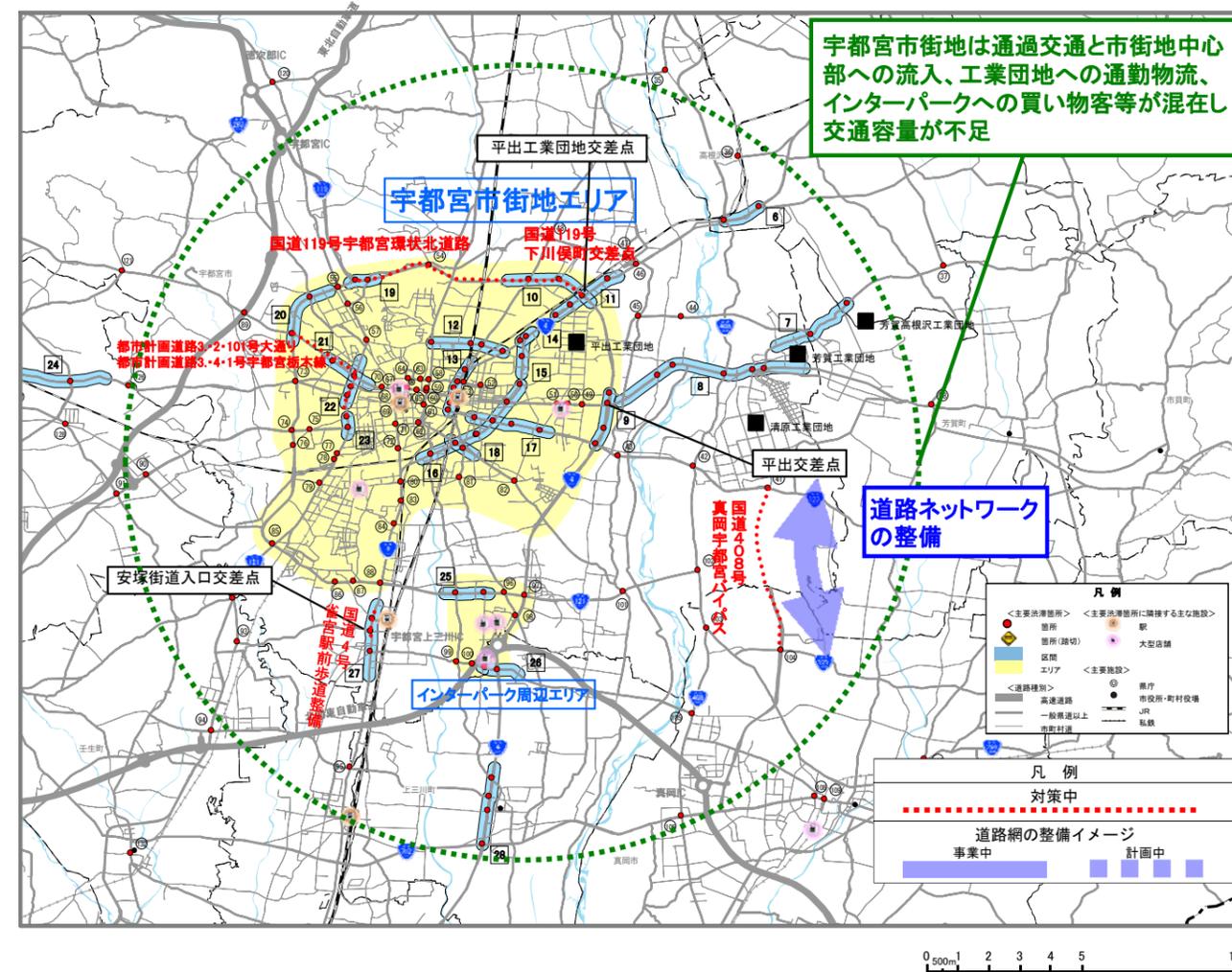
1. 栃木県宇都宮地域の概況

	概要
栃木県宇都宮地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> • 栃木県宇都宮地域の中心に位置する宇都宮市は、日光連山から連なる山地が収束し平野部となる境界域にあり、栃木県の県都です。また、東北新幹線、東北道など高速交通網や国道4号といった幹線道路が通過し、製造品出荷額が全国の市町村で19位(1.8兆円)と国内でも有数の地域商工業都市です。 • 県人口の約4分の1の50万人が宇都宮市に住み、産業、教育、文化等の多くの都市機能が集積、周辺には平出工業団地に代表される大規模工業団地が形成されていることから、通勤時において交通が集中している地域です。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> • 宇都宮市周辺に広がる住宅地域から、通勤・通学のために宇都宮市街地に入ってくる主要な道路としては、南北軸としての国道4号及び宇都宮栃木線などがあり、東西軸としては国道123号、宇都宮向田線、環状線である国道119号などがありますが、宇都宮地域への流入部が限られていることから、東側からの交通は平出交差点に集中、北側からの交通は平出工業団地交差点に集中、南側からの交通は安塚街道入口交差点に集中するなど、交通集中による渋滞が発生しています。 • 通過交通を担う主要な幹線道路である新4号周辺には大規模工業団地が多く形成されており、朝夕の通勤通学時を中心に交通が集中し、容量不足による速度低下や渋滞が発生しています。 • 宇都宮市の南部に位置するインターパーク周辺では、休日の昼頃から夕方にかけて郊外大型商業施設への交通集中による混雑が発生しています。

2. 対策の方向性

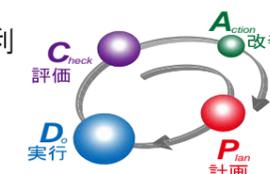
	概要
道路整備等	<p>①朝夕の通勤時に集中する交通の渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 都市内交通と通過交通の分離 市街地を迂回する道路ネットワークの整備・強化により、市街地を通過する交通の抑制、流入交通の分散を図ります。 →道路ネットワークの整備(国道408号真岡宇都宮バイパス、国道119号宇都宮環状北道路) • 交差点形状や道路構造に起因する速度低下の改良 宇都宮地域へ流入する交通が集中するために渋滞している交差点について、交差点の立体化や拡幅、右左折車線増設や車線長延伸により、交差点の交通を円滑にする施策を実施してまいります。 →主要交差点の立体化(国道119号下川俣町交差点) →拡幅による車線数の増設(都市計画道路3.2.101号大通り、都市計画道路3.4.1号宇都宮栃木線) →歩道整備による走行性の向上(国道4号上横田1・2区工区歩道整備、国道4号雀宮駅前歩道整備)
ソフト施策	<ul style="list-style-type: none"> • 大型商業施設への渋滞について、適切な信号現示の調整や交通誘導の実施、バス利用の促進等のソフト対策を実施していきます。

3. 栃木県宇都宮地域の主要渋滞箇所と現在の対策等



今後の対応方針

- 各主要渋滞箇所の渋滞対策について、既存道路ネットワークの有効利用に取り組むとともに、道路構造上の問題などを抱える渋滞ボトルネック箇所について各道路管理者や警察が連携し、道路利用者等の協力を得つつ検討箇所の抽出、渋滞要因の分析、ハード・ソフト両面から具体的な対策の立案・実施を行ってまいります。
→朝夕の通勤時に集中する交通、大型商業施設に集中する渋滞の対策を進めて参ります。
- 今後、渋滞箇所や渋滞状況が変わることが想定されることから「マネジメント会議」で主要渋滞箇所やその対応方針について見直しを行って参ります。(PDCAサイクル)



■ 栃木県小山地域における対応の基本方針について

検討経緯

- 栃木県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくために、「道路行政マネジメントを实践する栃木県会議」※(以下「マネジメント会議」)において、道路利用者の皆様が実感している渋滞箇所等を「主要渋滞箇所」として特定しました。
- このたび、「地域の主要渋滞箇所」の対応の基本方針を「マネジメント会議」において検討し、決定しました。

- H23.3 第9回協議会
 - H23.12 第10回協議会
 - H24.8 第11回協議会
 - H24.12 第12回協議会
 - H25.1 主要渋滞箇所の特定
 - H25.6 第14回協議会
- 対応の基本方針の公表

※「道路行政マネジメントを实践する栃木県会議」の構成員

- | | | | |
|-------------------|--------------------|--------------|-------------------------|
| ○学識経験者 | ○(一社)栃木県商工会議所連合会 | ○栃木県NPO協会 | ○東日本高速道路(株)関東支社宇都宮管理事務所 |
| ○(公社)栃木県観光物産協会 | ○(一社)栃木県安全運転管理者協議会 | ○(一社)栃木県バス協会 | ○栃木県 |
| ○栃木県地区交通安全協会女性連合会 | ○下野新聞社宇都宮総局 | ○NPO法人e-とちぎ | ○国土交通省関東運輸局栃木運輸支局 |
| ○栃木県教育委員会 | ○(一社)栃木県トラック協会 | ○栃木県警察本部 | ○国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所 |

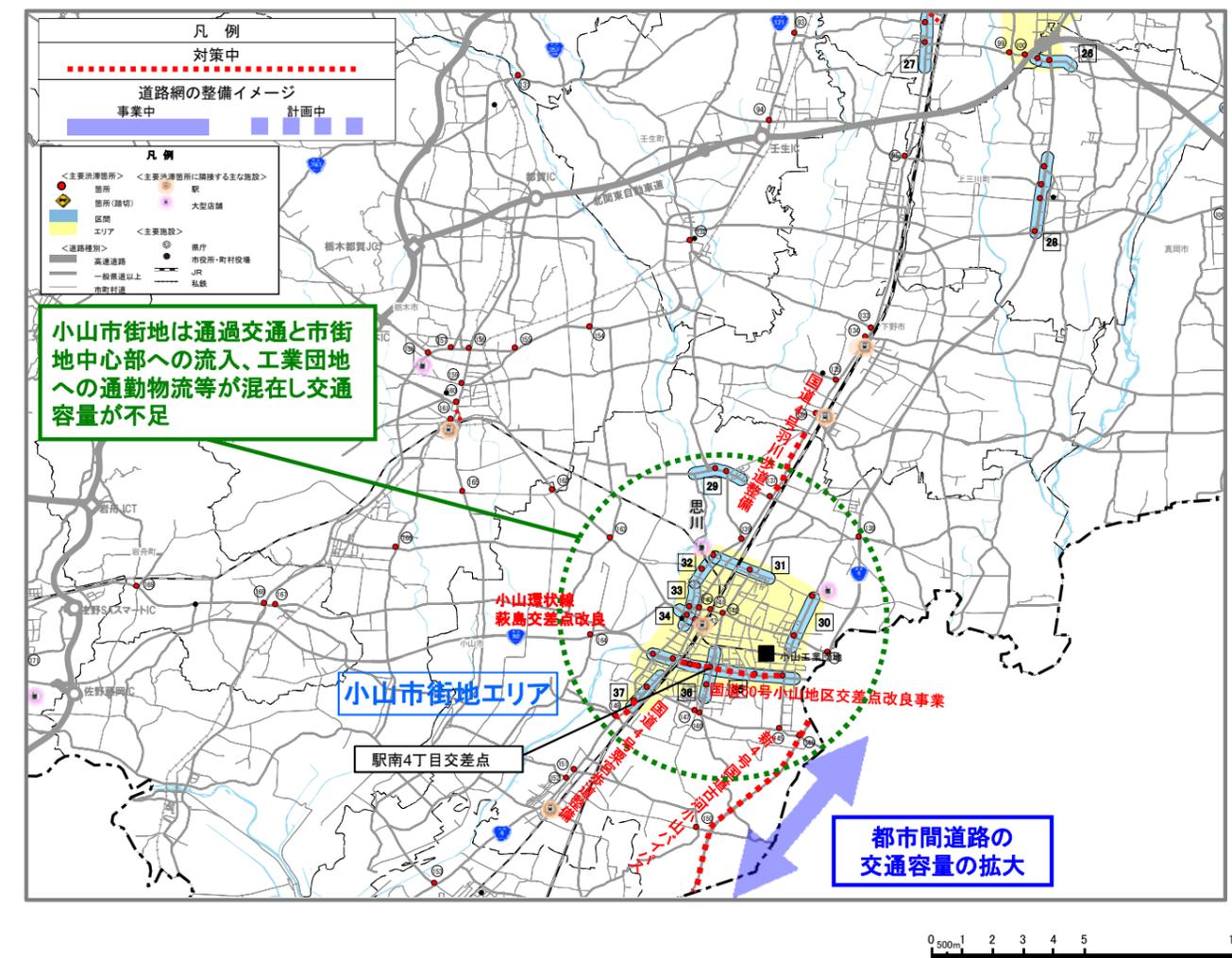
1. 栃木県小山地域の概況

概要	
栃木県小山地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> • 栃木県小山地域の中心に位置する小山市は、関東平野のほぼ中央でほとんど起伏がなく、市中央部を南北に流れる思川によって東西に2分されています。また、交通網が東西南北に走り、東北新幹線といった交通や国道4号、国道50号などの主要幹線道路が地域内を通過する栃木県南部の中心都市です。 • 県内人口第2位で県南地域の商業の中心である小山市は、東京から約60kmという立地を生かして小山工業団地などの工業団地や住宅地が次々と増え、通勤時において交通が集中している地域です。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> • 栃木県小山市は、東西方向の幹線道路である国道50号と、南北方向の幹線道路である国道4号が交差する交通の要衝であり、この幹線道路が市街地を通過しているため、都市内交通と通過交通が混在、集中し渋滞が発生しています。 • 特に駅南4丁目交差点周辺では、信号交差点が連続しており、沿道施設が多数立地していることから出入交通が多く、また、沿道に立地する小山工業団地などへの物流交通も集中するため、朝夕の通勤時に渋滞が発生しています。

2. 対策の方向性

概要	
道路整備等	<p>①朝夕の通勤時に集中する交通の渋滞の対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市内交通と通過交通の分離 市街地を迂回する道路ネットワークの整備・強化により、市街地を通過する交通の抑制、流入交通の分散を図ります。 →道路ネットワークの整備(新4号国道古河小山バイパス) ・交差点形状や道路構造に起因する速度低下の改良 小山地域へ流入する交通が集中するために渋滞している交差点について、右左折車線増設や車線長延伸により、交差点の交通を円滑にする施策を実施してまいります。 →右左折車線増設、車線長延伸(国道50号小山地区交差点改良、小山環状線萩島交差点改良) →歩道整備による走行性の向上(国道4号羽川歩道整備、国道4号粟宮歩道整備)
ソフト施策	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な信号現示の調整、バス利用の促進等のソフト対策を実施していきます。

3. 栃木県小山地域の主要渋滞箇所と現在の対策等



今後の対応方針

- 各主要渋滞箇所の渋滞対策について、既存道路ネットワークの有効利用に取り組むとともに、道路構造上の問題などを抱える渋滞ボトルネック箇所について各道路管理者や警察が連携し、道路利用者等の協力を得つつ検討箇所の抽出、渋滞要因の分析、ハード・ソフト両面から具体的な対策の立案・実施を行ってまいります。
→朝夕の通勤時に集中する交通の渋滞対策を進めて参ります。
- 今後、渋滞箇所や渋滞状況が変わることが想定されることから「マネジメント会議」で主要渋滞箇所やその対応方針について見直しを行って参ります。(PDCAサイクル)

